

校長室から
(R元年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 29
令和元年9月4日(水)発行

Positive な声かけが自尊心を育てる

スマホを使えば計算したり、検索結果を示したりしてくれる便利な現代です。



AI (artificial intelligence「人工知能」)の進歩や社会生活への導入がどんどん進む中ですが、より人間らしく豊かで幸福な人生を創造することが求められています。

これからは、多くの知識を知っていることや計算が正確にできることだけでなく、課題に気づき、見通しをもって解決できる力が必要です。そのために知識や技能を生きて働くようにする「主体的・対話的で深い学び」が求められています。時には、唯一の正解を持

たない問いに、子どもたちが思考力や判断力、表現力等を発揮し、協働して答えをつくっていく学びも必要です。

最近の幼児教育に関する研究では、子どもがよりよく学ぶために、思考力や表現力の他にも必要な資質・能力があることがわかっています。それは、理解できるまで粘り強く、勉強したり、友だちと教え合って理解を深めたりする力です。計算力や思考力はテストで計れるちからですが、根気強さや協働性は計れません。この計れない力、学習や生活に必要な力は「非認知能力」と言われます。非認知能力には、

- ◎目標を達成するための「忍耐力」「自己抑制」「目標への情熱」等
- ◎他者と協力するための「社会性」「敬意」「思いやり」等
- ◎感情を抑制(コントロール)するための「自尊心」「楽観性」「自信」等

があり、多くは幼児期の遊びを通して身につくと言われていますが、今からでも間に合います。たとえば、ていねいな声かけ、ポジティブな声かけで自尊心は育まれます。学校では、教師や友だちからの声かけにより、社会的な自尊心が育まれますが、家庭での声かけは「自分はここにいていいんだ」「自分は大切にされているんだ」という基本的な自尊心を育み、心理的安全性、安心感を保つためにも必要です。

社会の変化に対応できる「実力」を親子で身につけていきましょう。

防災の日(9/1)と防災週間(8/30～9/5)

9月1日(日)は「防災の日」でした。そして、この日を含む1週間を「防災週間」(毎年8月30日～9月5日)として防災訓練などが全国的に実施されます。大阪府では、明日9月5日(木)の午前11時から「大阪880万人訓練」が予定されています。

なぜ、この時期に定められたかということ、1923(大正12)年9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。また、この時期は、台風のシーズンとも重なっていて、地震、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、津波等の災害についての認識を深めるとともに、これらに対する備えを行うことで、災害の未然防止と被害の軽減を図るといふねらいがあります。地震はいつ発生するかわかりません。毎日のように全国のどこかで発生しています。準備をせずに地震が発生してしまうと被害は大きくなることが予想されます。だから、事前に訓練が必要なのです。

一番大切なことは、みなさん全員の命を守ることです。そのためには、日頃から地震による危険を予測して、どうやって身を守るかを考え、素早く避難ができるようにしておく必要があります。避難行動で大切なことはいくつかあります。地震が発生してもパニックを起こさずに冷静に行動する、放送での指示や先生の指示を守る、揺れがおさまるまでは机の下などで頭を押さえて落下物から身を守る、揺れがおさまったら「(お)押さない、(は)走らない、(し)しゃべらない、(も)戻らない、(て)低学年を優先して」を守ってクラス毎にグラウンドなどの危険物のない広い場所に避難することです。

また、学校にいるときに発生するかはわかりません。たとえば、自宅にいるときや登校途中などに発生することもあります。昨年6月の大阪北部地震がそうでしたね。外にいれば車も通っているし、落下物もあるかもしれません。ガラスが割れて落ちてくることもあります。そうした場合には、学校での避難訓練を活かして、自分で様々な危険を予測し、周りの状況判断して行動することになります。「自分の身は自分で守る!」このことを第一に考えましょう。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール24 しかられている人のほうを見ない

だれかが先生にしかられているときは、じろじろ見ないで、下を向くか、前を向いていよう。

●きみがしかられているときに、人にじろじろ見られたら、どんな気持ちになるだろう。いっそう落ちこんだり、頭にきたりするだろう。だから、しかられている人を見るのはやめよう。